

編集委員会委員

藤田昌久 | FUJITA, Masahisa | 京都大学経済研究所長

約2年半前における本誌創刊以来、今回で既に第11号目の刊行となる。これを機会に各号の巻頭を飾る、「研究」論文の全編を再読してみた。その第一印象は、全体として、運輸政策に関するハイレベル且つ有益で読みやすい論文が揃っているということであり、論文執筆者をはじめとする多くの関係者の方々の努力に敬意を表する次第である。しかしながら、一方では、私の様に交通運輸を必ずしも専門としていない一般の読者から欲をいわせてもらえば、運輸政策研究における視点ないしアプローチにおいて、もう少し幅を広げていただければと望まれる。

この点を説明する為に、人間の活動全体を便宜上、「(広い意味での)運輸活動」と、それ以外の「経済活動」に敢えて二分してみよう。そうすると、端的に言えば、空間的に分布している経済活動の仲立ちをするのが運輸活動である。この場合、本誌掲載の多くの「研究」論文の基本的な視点は、「経済活動の空間分布を基本的に与えられたものとして、それに対していかに効率性の高い運輸活動を行うか」ということである。これは狭義における運輸政策の伝統的な視点であり、本誌における多くの「研究」論文がそれに立脚しているのは驚くには当たらない。従来の費用便益分析に代表されるこの視点は、個々の(比較的小規模な)運輸政策活動の実施においては妥当であると言える。

しかしながらこの視点のみに基づく政策研究はどちらかと言えば「後追い型」であり、長期的な運輸政策の研究とは言い難い。なぜなら、個々の経済活動は、(基幹的な)運輸活動と与件として、そのもとで最適な立地を選ぶ。従って、長期的に見れば、経済活動の空間的分布(およびその結果としての経済活動全体の効率性)は運輸活動の関数であり、運輸政策によって大きく影響される。例えば、戦後における日本の地域構造は、明治以来の東京と大阪を中心とする「二眼レフ構造」から、高度成長期を通じて「太平洋ベルト地帯構造」に移り、さらに現在の「東京一極集中構造」へと移行してきた。このような日本における地域構造の大きな変遷は、その間における(日本の産業構造の変化とともに)運輸活動・政策の結果でもある。

従って、長期的な運輸政策の研究にとっては、運輸活動と経済立地の相互関連の研究も不可欠と言える。しかし、これは言うに易く、実際にはこの課題について(本誌の様な厳密なレフ

リー制度をパスできる)研究論文を書くことは容易ではなかった。なぜなら、この課題を理論的に研究する為には、なぜ大部分の経済活動はごく限られた地域に集積し、また、東京や大阪のような大都市をはじめとする中小様々な都市よりなる都市システム全体がどのようにして形成され変容してきたのかを説明できる、一般的な空間経済理論を必要とする。しかしながら、良く知られている様に、このような研究課題は収穫一定(ないし収穫逨減)の仮定に依存する伝統的な一般均衡理論のもとでは取り扱うことが不可能であった。

しかしながら、空間経済学における状況は最近一変しつつある。つまり、1990年代に入って、いわゆる「新しい空間経済学」が日米欧における若手の経済学者を中心として急速に開発されてきた。この「新しい空間経済学」における中心的な課題は、経済活動の都市ないし特定地域への集積のメカニズムの解明であるが、その基本的な考え方は、様々な現象を、非常に多数の個体間の相互関連が自己組織化した結果であると捉える「複雑系科学」の考え方と一致している。つまり、財や人間の多様性、財やサービスの生産における規模の経済、および財や情報の(広い意味での)輸送費、の三者の相互作用で生まれるポジティブ・フィードバックを通じて、集積が自己組織的に形成される。さらに、「新しい空間経済学」は空間構造の長期的変遷を、複雑系科学における非線型動学システムの「分岐」の理論を用いて解明する。つまり、運輸技術や経済環境の漸進的な変化により、既存の空間構造がある時点で不安定となり、新たな安定したシステムに再び自己組織化していく過程で大きな構造変化が起きる(参考・藤田、クルーグマン、ペナブルズ著「空間経済学」東洋経済新報社)

この「新しい空間経済学」においても、運輸活動は経済活動とともに中心的な役割を担う。しかしながら、現在のところ、その運輸活動を可能とする運輸技術や運輸施設は外生的に取り扱われている。従って、今までの運輸政策研究のアプローチと「新しい空間経済学」を結合することにより、運輸活動と経済立地の相互関連と発展や、新しい費用便益分析などを含む、運輸政策研究(理論と実証の両面)における新たなフロンティアを開拓していく事が可能になると思われる。特に才気溢れた日本の多くの若い研究者による一層の活躍が期待される。

この号の目次へ <http://www.jterc.or.jp/kenkyusyo/product/tpsr/bn/no11.html>